

ストレージソリューションサービスを強化・拡充 日立製作所との連携を強化

日立ビジネスソリューション株式会社(横浜市桜木町、代表取締役社長 木村 伊九夫、資本金 35億6千万円)は、近年、市場が活性化しているストレージソリューションサービス分野への取り組みを強化することを発表します。

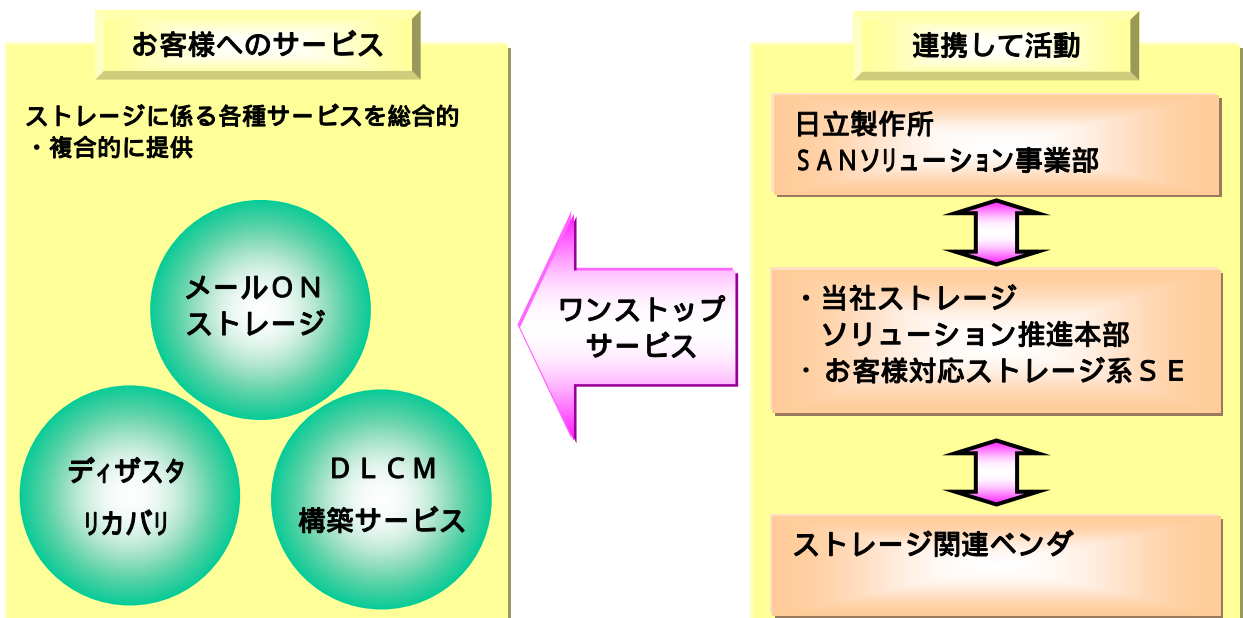
ストレージソリューション分野は企業活動継続性確保の為、災害時における必須機能として注目されております。加えてストレージビットコストの急激な低下により、これまで基幹業務データに対して実施されてきたデータのバックアップ取得、情報蓄積が文書情報、図面情報、画像情報、更に膨大なメール文書等の情報管理にまで対象範囲を急拡大させております。

この膨大な蓄積情報を効率よく管理するため、DLCM(データライフサイクルマネジメント)確立の重要性が強く求められています。

当社は、このDLCMを基軸に据えたストレージソリューション事業を、当社ストレージソリューション推進本部を中心に、日立製作所SANソリューション事業部と連携したサービスの強化を図ります。

そして、日立グループの一員としての役割を果たすべく、以下の体制のもとストレージに係る各種サービスを提供して参ります。

1. 当社のサービスの特徴



2. ストレージに係るサービス商品

- (1) メールONストレージ / EXCHANGE BACKUP ON ストレージ (10月より提供)
- (2) DLCM / MS Exchangeアーカイブソリューション ON ストレージ (10月より提供)
- (3) ディザスタリカバリ(災害復旧)環境構築 (提供中)

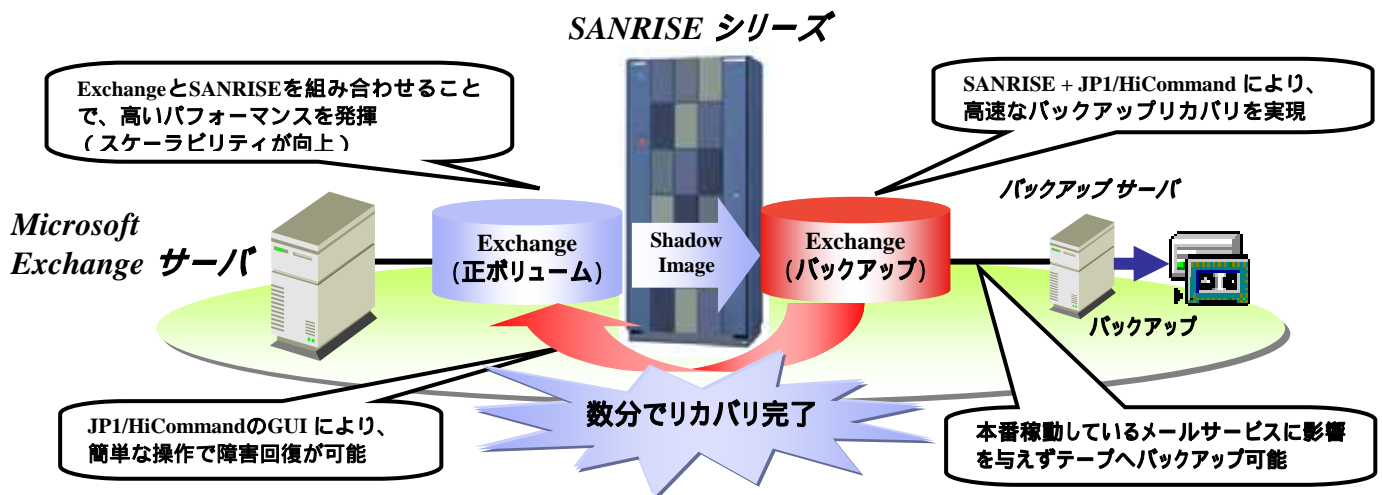
3. サービスの概要

日立ビジネスソリューションでは、日立製作所のストレージ製品SANRISEシリーズを中心とした、ストレージトータルソリューションを目指しています。ストレージに係るシステム全般についても提案していきます。

(1) メールONストレージ / EXCHANGE BACKUP ON ストレージ

電子メールの活用が企業活動にとって必要不可欠なツールになってきています。これに伴い、日々蓄積されるメッセージデータも膨大なものになっています。メールサーバの障害対策としてのデータのバックアップは、データ量の増大につれて多大な時間を要しており、運用に過重な負荷がかかっています。

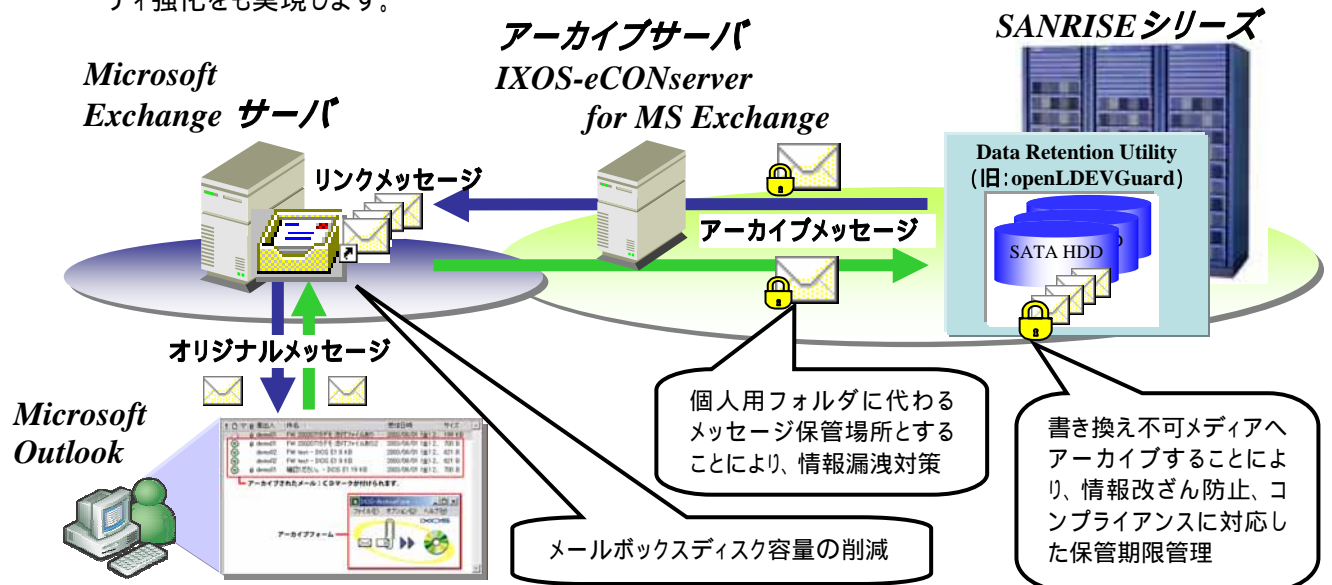
「メールONストレージ / EXCHANGE BACKUP ON ストレージ」では、MS Exchangeサーバのデータを、SANRISEシリーズとJP1 / HiCommand Protection Managerが、提供する操作性及び、圧倒的なパフォーマンスにより、迅速なバックアップ&リカバリ(障害回復)を実現します。



(2) DLCM / MS Exchange アrchiveソリューション ON ストレージ

日々増大する膨大な電子メールデータを、アーカイブソリューションの仕組みを利用し、そのデータのライフサイクルに合わせて、効率的にまとめて保存、管理します。

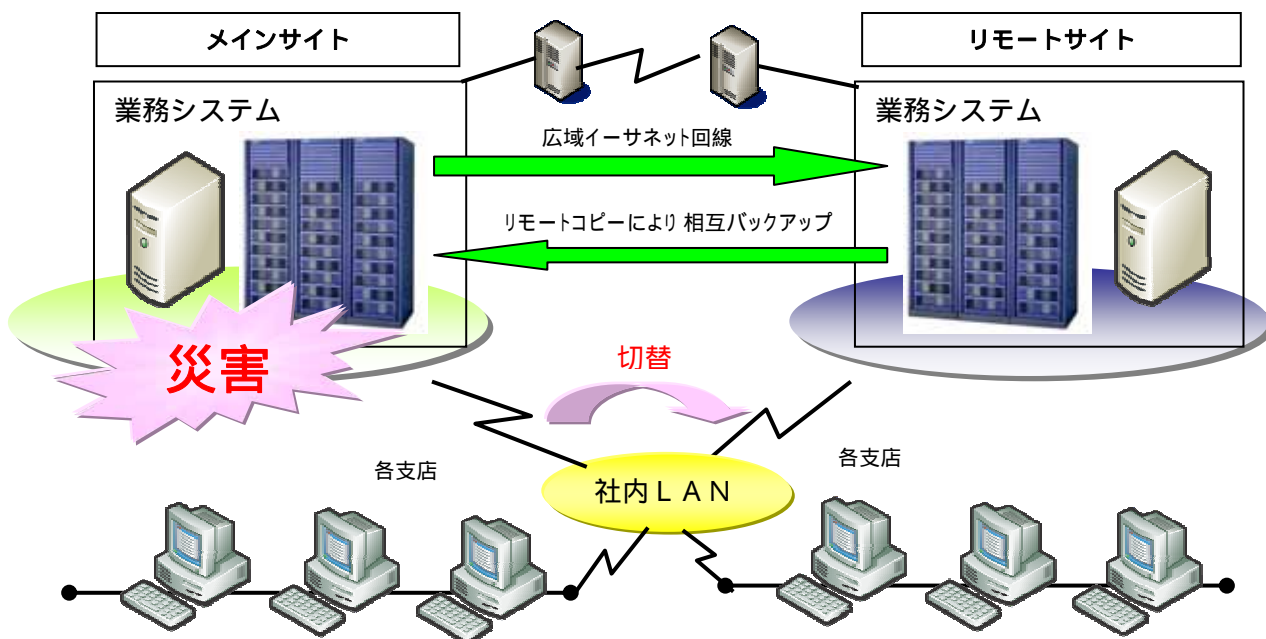
「MS Exchangeアーカイブソリューション ON ストレージ」は、Microsoft Exchangeサーバで送受信される全てのメールデータを、イクスソフトウェア社アーカイブ保管ソフトウェアである「IX OS - eCONserver for MS Exchange」と、データ改ざん防止機能である「Data Retention Utility (旧: openLDEVGuard)」の連携により、最適に保管します。さらに、企業のコンプライアンスに対応する電子メールの保管、期限管理だけでなく、サーバのディスク容量削減、セキュリティ強化をも実現します。



- 従来のオフラインストレージ(DVD,CD-R)と比較し高速なレスポンスを実現
- アーカイブデータの運用管理が軽減

(3) ディザスタリカバリ環境構築

予期しない災害によって引き起こされる“システム障害を復旧させる作業”には各種システムのバックアップ体制を整えることが重要です。重要なデータの回復をストレージ側でサポートするのが、「ディザスタリカバリ環境構築サービス」です。



4. 売上目標

初年度売上げ目標 15億円

5. 問合せ先

日立ビジネスソリューション株式会社
システム営業部 【担当：竹本、稲垣、行川】

TEL : 045-224-6723 (直通) FAX : 045-224-6719
Mail b-sol@www.b-sol.jp URL <http://www.b-sol.jp>

日立製作所は9月8日に「SANRISE USP (Universal Storage Platform)」を発表しました。世界ではじめてディスクアレイ自体に仮想化技術を適用した「外部ストレージ接続機能」他を提供しました。「SANRISE USP」に接続された規模や性能の異なるストレージ間でデータを最適配置し、既存投資を有効活用しながらストレージ全体の使用効率を高めるDLCM (Data Life Cycle Management) 基盤として利用可能とした。「SANRISE USP」をサポートするソリューションサービスにおいては新機能に対応した外部接続システムの構築サービスやデータ移行サービス、さらにデータ改ざん防止機能を用いたEメールデータ向けアーカイブシステムの設計構築サービスを提供する。

【商標について】

- すべての名称ならびに製品についての商標は、それぞれ各社の商標または登録商標です。
- ・IXOSは、IXOS SOFTWARE AG及びイキソソフトウェア株式会社の登録商標です。
 - ・IXOS-eCONserverは、IXOS SOFTWARE AG及びイキソソフトウェア株式会社の登録商標です。

- 以上 -

日立ビジネスソリューション株式会社 システム営業部

〒231-0062 神奈川県横浜市桜木町1丁目1番地8
(日石横浜ビル)

電話(045)224-6111(大代表)
FAX(045)224-6119
URL <http://hitachi-business.com>